



文化庁委託事業「平成30年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」

新国立劇場 演劇研修所 第12期生試演会

『トミイのスカートからミシンがとびだした話』

作：三好十郎 演出：田中麻衣子 出演：新国立劇場 演劇研修所研修生 ほか

2018年10月26日(金)～31日(水)

新国立劇場 小劇場

激動の戦後を懸命に生きる若者たちの物語

初演以来67年ぶりの上演

2016年入所の第12期生が8月の朗読劇『少年口伝隊一九四五』の公演を経て、いよいよ新国立劇場小劇場での試演会に臨みます。作品は、三好十郎作『トミイのスカートからミシンがとびだした話』。

1951年に「群像」誌上で発表され、同年の戯曲座による初演以来となる上演です。

戦後、身体を売りながら生活していた富子の波乱万丈な人生、同胞たちや戦争から帰還した青年たちの生き様が、三好作品ならではの、次々と繰り出される大きな熱量の台詞によって魅力的に描かれています。

1期生より演劇研修所公演に携わってきた田中麻衣子の演出でお贈りする、研修生活3年目を迎えた12期生の新しい挑戦にご期待ください。



2018年8月 第12期生朗読劇『少年口伝隊一九四五』より

■写真・資料のご請求、ご取材のお問い合わせ

新国立劇場 広報室 広報第一係

Tel: 03-5352-5781 / Fax: 03-5352-5784

■新国立劇場 演劇研修所ホームページ

<http://www.nntt.jac.go.jp/play/training/>

■新国立劇場 演劇研修所 Facebook

最新情報はこちら！

<https://www.facebook.com/nnt.dramastudio.tokyo/>

公演概要

作 : 三好十郎
演 出 : 田中麻衣子

美 術 :	伊藤雅子	ヘアメイク :	馮 啓孝
照 明 :	中川隆一	振 付 :	黒田育世
音 楽 :	国広和毅	演出助手 :	菅井新菜
音 響 :	黒野 尚	舞台監督 :	田中伸幸
衣 裳 :	宮本宣子		

出 演 : 新国立劇場演劇研修所 第12期生
伊澤日菜 川飛舞花 下地萌音 永井茉莉奈 中坂弥樹 林 真菜美
石原嵩志 河合隆汰 福永 遼 福本鴻介
坂川慶成(第8期修了) 村岡哲至(第9期修了)

演劇研修所長 : 宮田慶子
制 作 : 新国立劇場
主 催 : 文化庁、新国立劇場

会 場 : 新国立劇場 小劇場

日 程 : 2018年10月26日(金) 19:00
27日(土) 14:00
28日(日) 14:00
29日(月) 19:00
30日(火) 19:00
31日(水) 14:00

※開場は開演の30分前です。

料 金 : A 席 3,240円
B 席 2,700円
学生券 1,000円
Z 席 1,620円

※枚数制限はありません。就学前のお子様のご同伴・ご入場はご遠慮ください。

※28日(日)14:00のみ、託児所のご利用が可能です。

※会員割引を含め、各種割引はございません。

※車椅子ご利用のお客様はボックスオフィスまでお問い合わせください。

※学生券はボックスオフィスの窓口・電話にて受け付けます。

お引き取りの際には、学生証または年齢を確認できるものが必要です。

チケッ ト : 新国立劇場ボックスオフィス/Webボックスオフィス

03-5352-9999/<https://pia.jp/nntt/>

チケットぴあ【Pコード:487-497】

0570-02-9999/<https://pia.jp/t>

前 売 : アトレ会員先行発売期間 2018年9月6日(木)~9月12日(水)
一般発売日 2018年9月14日(金)~

あらすじ

戦後、東京周辺の都市、明け方に近い時分。

身体を売って生計を立てていた富子と、その仲間たちが酒を飲みながら歌を唄っている。貯めた金でミシンを手に入れ、洋裁で生活していこうとする富子の送別会である。

東京郊外の伯父の家に戻った富子は、伯父夫婦の助けを借り、弟・妹と暮らしながら洋裁店を開く準備を進めている。そこへ、新聞記者がインタビューに訪れ、世の中に明るい希望を与えるために富子のことを記事にしたいと言う。……

【参考】

出版掲載：

「群像」（1951年3月号）

上演歴：

1951年11月 戯曲座（石崎一正演出、渋谷公会堂にて）

スタッフ



作：三好十郎 みよし・じゅうろう 劇作家（1902－1958）

佐賀県生まれ。早稲田大学英文科卒業。在学中、教授の推薦で「早稲田大学」に詩を発表し詩人としてデビュー。1927年5月処女戯曲『首を切るのは誰だ』を「左翼芸術」第1号に発表。翌28年『傷だらけのお秋』を「戦旗」8月号から11月号まで連載発表した。以後58年に亡くなるまで劇作に専心し、57編の戯曲を多数のラジオドラマを残している。プロレタリア戯曲を代表する戦前の作品に『炭塵』『斬られの仙太』『幽霊荘』『彦六大いに笑う』などがある。特に『彦六大いに笑う』は1936年8月、井上正夫演劇道場が初演し好評を得た。

戦時中の作品に『浮標』の他、『おさの音』『夢たち』『獅子』『おりき』などがある。『浮標』は1940年3月新築地劇団で初演され、転向期の作品として高く評価された。

戦後の作品には『廢墟』『胎内』『その人を知らず』『炎の人』（昭和27年読売文学賞戯曲賞受賞）などがある。『神という殺人者』を執筆中に永眠。

新国立劇場演劇研修所では、2015年に第9期生修了公演にて『噛みついた娘』を上演。



演出：田中麻衣子（たなか・まいこ）

演出家

日本大学芸術学部演劇学科卒業。演出作品に『Shakespeare's R & J』『ある階段の物語』『リリオム』『ロミオとジュリエット』『血の婚礼』『胎内』朗読劇『ハーメルンの死の舞踏』『罪と罰』など。2014年文化庁文化庁派遣新進芸術家制度でロンドンにて研修。現在、新国立劇場演劇研修所コーチ。Théâtre Muibo 主宰。

出演者

演劇研修所第12期生

<p>伊澤日菜 (いざわ・ひな)</p>  <p>1992年生・愛知県出身</p>	<p>川飛舞花 (かわとび・まいか)</p>  <p>1998年生・兵庫県出身</p>	<p>下地萌音 (しもじ・もと)</p>  <p>1997年生・沖縄県出身</p>	<p>永井茉莉奈 (ながい・まりな)</p>  <p>1993年生・富山県出身</p>
<p>中坂弥樹 (なかさか・みき)</p>  <p>1995年生・神奈川県出身</p>	<p>林 真菜美 (はやし・まなみ)</p>  <p>1991年生・岡山県出身</p>		
<p>石原嵩志 (いしはら・たかし)</p>  <p>1993年生・栃木県出身</p>	<p>河合隆汰 (かわい・りゅうた)</p>  <p>1993年生・長野県出身</p>	<p>福永 遼 (ふくなが・りょう)</p>  <p>1996年生・長崎県出身</p>	<p>福本鴻介 (ふくもと・こうすけ)</p>  <p>1993年生・東京都出身</p>

演劇研修所修了生

<p>坂川慶成 (さかがわ・よしなり)</p>  <p>第8期修了</p>	<p>村岡 哲至 (むらおか・てつじ)</p>  <p>第9期修了</p>
--	--

新国立劇場 演劇研修所について

新国立劇場演劇研修所は、明晰な日本語を使いこなし、柔軟で強い身体を備えた次世代の演劇を担う舞台俳優の育成を目指して、2005年に設立されました。

研修期間は3年間で、原則として週5日間、午前10時～午後6時のレッスンを、年間を通して行っています。1・2年次は基礎的俳優訓練とともに、第一線の演出家や俳優指導の専門家を軸とする講師陣による基礎的な訓練およびシーンスタディを行い、3年次には修了に向けて数本の舞台実習公演を行います。

修了生は、新国立劇場公演のみならず、さまざまなプロデュース公演に出演、映像作品への出演、声の仕事など、活躍の場を広げています。

【今後の主な修了生出演作品】

平成30年度（第73回）文化庁芸術祭主催公演

新国立劇場2018/2019シーズン『誤解』

（作：アルベール・カミュ、翻訳：岩切正一郎、演出：稲葉賀恵、2018年10月）

深谷美歩（第2期生）

NODA・MAP第22回公演『鷹作 桜の森の満開の下』（作・演出：野田秀樹、2018年9～11月）

藤井咲有里（第2期生）

パラドクス定数 第43項『蛇と天秤』（作・演出：野木萌葱、2018年10月）

阿岐之将一（第10期生）

世田谷パブリックシアター『The Silver Tassie 銀杯』

（作：ショーン・オケイシー、翻訳・訳詞：フジノサツコ、2018年11月）

チョウ ヨンホ（第4期生）

Bunkamura30周年記念 シアターコクーン・オンレパートリー2018

DISCOVER WORLD THEATRE Vol.4『民衆の敵』

（作：ヘンリック・イブセン、翻訳：広田敦郎（シャーロット・バースランドの英語逐語訳による）、

演出：ジョナサン・マンビィ、2018年11月）

阿岐之将一（第10期生）、西原やすあき（第2期生）

こまつ座第125回公演『どうぶつ会議』（エーリッヒ・ケストナー作／高橋健二訳「動物会議」より）

（作：井上ひさし、演出：田中麻衣子、音楽：国広和毅、2019年1月）

横山友香（第6期生）、長本批呂士（第3期生）、前田一世（第1期生）

ほか、テレビ・映画・CMなど

本公演に出演する第12期生は、2016年4月に入所。3年次である今年度は、朗読劇『少年口伝隊一九四五』公演に向けて5月に広島で3泊4日の国内研修を行い、8月に朗読劇『少年口伝隊一九四五』を上演。10月に試演会『トミイのスカートからミシンがとびだした話』、2019年2月に修了公演に臨み、3月に修了いたします。



2018年8月 第12期生朗読劇『少年口伝隊一九四五』より



2018年3月 第12期生シーンスタディ『三文オペラ』発表授業